



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく かいっぱい」

太子町立石海小学校
NO.10 令和4年2月18日
発行者：校長 久保田 昌之

学びの保障と感染症対策



新型コロナウイルス感染症拡大になかなか歯止めがかからず、連日過去最高の感染者数を記録するなど、先行きが見えない状況が続いています。「まんえん防止等重点措置」が適用された後、学校の教育活動にもいろいろな制限が加わり、感染力が非常に強いオミクロン株を前にして、学びの保障と感染症対策の両立という困難な課題に日々直面しています。

こうした中、音楽会を延期してでも何とか実施できないか検討してきましたが、感染症の収束が見込めないため、中止することになりました。体育的行事とはまた違った子どもたちのがんばる姿をご覧いただけると楽しみにしていましたが、残念ではありません。何卒ご理解・ご協力をお願いします。

歴史の重みを感じる「石小の子」



先日、「石小の子」第54号を発行しました。この中には、日頃子どもたちが感じていること、思っていること等が綴られています。この文集は、数多くの先輩教職員の皆様と子どもたちの手で作られ、54年間脈々と受け継がれてきた「言葉の宝物」です。

新しい学習指導要領でも、「言葉による見方・考え方」を働かせることが国語科の目標としてあがっています。時代は変わっても、「言葉」が大切なことは変わりません。これからも、「言葉」への自覚を高めながら、自分の思いや考えを深めるような学習や言語活動を行っていきます。



ご協力ありがとうございました

1月22日(土)に、PTAリサイクルデーが行われました。バザー担当のPTA役員の皆様が、アイデアを出し合って、これまでと違う実施方法で開催してくださいました。保護者・地域の皆様の、温かいご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

プログラミングを活用した「速さ」の学習

兵庫県版プログラミング教育スタートバック構築事業の一環で、5年生算数科「速さ」の学習の研究授業が行われました。数式だけ



で「速さ」ととらえることは難しいので、Scratchのプログラムを活用して動物のイラストを動かし、視覚的にとらえさせました。1人1台のタブレットを使ってさまざまな数字を入力し、試行錯誤しながら速さの意味を深く考えることができました。

こうえんでふゆをさがそう



1年生は、「生活科」の学習で、太子山公園へ出かけました。一見して草木が枯れているように見えても、じっくり観察すると、木が新芽をつけている様子などを発見することができました。

太子山公園は、春、秋に続いて3回目の訪問でしたが、歩くスピードも集団行動もてきぱきとできるようになり、1年間の成長も感じとれた1日でした。

入学説明会-ご入学をお待ちしています

2月9日(水)に新一年生の入学説明会を実施しました。例年ですと、新一年生の体験入学も実施していますが、コロナ禍のなかですので、保護者対象の説明会のみとなりました。入学予定児童数は、現在のところ70名で2クラスになる予定です。

***** 教室の窓 *****

学校の中庭を掃除していると、低学年の児童が近づいてきて、落ち葉を掃く様子をじっと見ていました。話し掛けてくる訳でもなく、ただただ私の様子をじっと見ていました。すると、「落ち葉って、季節によって音が違うんだよなあ。」とぼそりと言ったのです。私には無い感覚だったので、「なるほど」と感心しました。私にとって落ち葉は不要な物でしたが、その児童には違うように見えていたのだと思います。

1年生は、2月7日(月)に太子山公園に冬を探しに行きました。きっと私には見つけられなかった物や音をたくさん見つけたのだと思います。子どもたちの純粋な感覚を大切にしたいと、改めて感じています。〈文責：教頭 三宅 優一〉

・石海小学校ホームページでも、学校の情報を発信していますのでご覧ください。「石海小学校」で検索してください。

・本文は、だれもが見やすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。